

A background photograph showing several people in a grassy field. Some are wearing white protective suits and using long-handled insect nets. One person in the foreground is wearing a white and black checkered skirt. The scene is outdoors with a white fence in the background.

第6回 昆虫標本箱コンテスト 結果発表

NPO法人カラカネイトトンボを守る会
標本箱コンテスト審査委員会

最優秀賞

柴崎 惺（しばさき さとる）さん 「2024年トンボの図かん」

審査員より

珍しい種類のトンボを含め、たくさんのトンボを標本にしています。標本のほかに資料を作っており、捕まえたトンボの特徴や生息場所がわかりやすくまとめられています。今度は、より標本箱としての完成度を上げられるように、丁寧な標本づくりを今後も頑張ってください！



優秀賞

野島 康佑（のじま こうすけ）さん 「夏休みにとった虫たち」

審査員より

種数も多く、特に、様々な場所でトンボを捕まえている点でよい標本箱だったと思います。また、北海道では希少なミルンヤンマを捕まえていることがすごいと思います。

今後は、標本の配置を工夫してみるとより良い標本箱になると思います。



優秀賞

高橋 美なつ（たかはし みなつ）さん

「あいの里でとれた
たくさんのトンボ!!」

審査員より

トンボの種数が多く、あいの里の地域でとれたトンボを時期ごと、種類ごとに分類して、丁寧な標本づくりがされています。また、希少なショウジョウトンボのメスが採れている点も評価のポイントとなりました。

※3箱ご応募いただきましたが、掲載上の都合により、2箱でのご紹介といたします。



優秀賞

星野 幹太（ほしの かんた）さん

「2024年のぼくのひょう本」

審査員より

トンボだけでなく、チョウやバッタなどを採っていて、昆虫の標本として全体的な種数の多さが見られました。また採った日時、採った人の名前、採った昆虫の名前を1つ1つていねいに記録していて、そしてそれらをピンで刺していることから、しっかりとした標本を作ろうと努力している様子が伝わりました！



努力賞

野島 佑一（のじま ゆういち）さん
「夏休みにとった昆虫たち」

野島 陵佑（のじま りょうすけ）さん
「とんぼのひょうほん」

柴崎 駈（しばさき かける）さん
「がんばってとったトンボとり」

隈元 遼（くまもと はる）さん
「夏と秋のこん虫2024」

森下 立規（もりした りつき）さん
「こんちゅうさいしゅうたのしかったです」

全体 講評

今年度で6回目となった昆虫標本箱コンテストですが、9名の作品がエントリーされ、今年も白熱した審査が盛り上がりました。

今年は、トンボ以外の昆虫の標本も多く、ととにもぎやかな標本箱が多くありました。また、「いつ」「どこで」捕れた「何の」標本なのか、しっかりと書かれている標本も多かったです。そのため、評価では「どれだけたくさんの種類が捕れたのか」「標本としての価値がどれだけあるのか」をポイントとし、審査しました。今回はそれに加え、珍しい種類を捕れた人も評価の加点ポイントとしました。

地元以外の場所で捕まえた昆虫や、トンボ以外の昆虫標本も大歓迎です。ぜひ来年度も昆虫採集をして、標本箱コンテストに参加してみてください！

今回の副賞として入賞作品応募者には

- ・ 賞状
- ・ 最優秀賞 図書券 3000円分
- ・ 優秀賞 図書券 2000円分
- ・ 努力賞 図書券 1000円分

を差し上げます。